

第 464 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会

プログラム・抄録集の修正箇所

プログラム・抄録集について、下記のとおりの修正がございます。
ここにお詫び申し上げますとともに、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

※敬称略

ページ数	修正 前	修正 後
24	<p>1-1 鼠径管にみられた脂肪肉腫の 2 例</p> <p>川澄 晃子、金子 英樹、上野 真子、 名畠 賢太郎、奈良岡 祐子、宮澤 あづみ、 三尾 幸司、金子 裕右、浅見 勇太、 伊東 良晃、鈴木 和代、伊東 伸剛</p> <p>国立病院機構 東京医療センター 放射線診断科</p>	<p>1-1 鼠径管にみられた脂肪肉腫の 2 例</p> <p>川澄 晃子 1)、金子 英樹 1)、上野 真子 1)、 名畠 賢太郎 1)、奈良岡 祐子 1)、 宮澤 あづみ 1)、三尾 幸司 1)、金子 裕右 1)、 浅見 勇太 1)、伊東 良晃 1)、鈴木 和代 1)、 伊東 伸剛 1)、勝又 佳織 2)、服部 盛也 3)、 白石 淳一 4)、奥田 茂男 1)</p> <p>1)国立病院機構 東京医療センター 放射線診断科 2)国立病院機構 東京医療センター 一般消化器外科 3)国立病院機構 東京医療センター 泌尿器科 4)国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科病理</p>
36	<p>5-2 冠動脈瘻の形態評価における心臓 CT の役割</p> <p>杉崎 健一、真鍋 徳子、真鍋 治、 加藤 扶美、大石 茉耶、朝倉 峻介</p> <p>自治医科大学附属さいたま医療センター</p>	<p>5-2 冠動脈瘻の形態評価における心臓 CT の役割</p> <p>杉崎 健一、真鍋 徳子、真鍋 治、 加藤 扶美、大石 茉耶、朝倉 峻介、 祖父江 良崇</p> <p>自治医科大学附属さいたま医療センター</p>
37	<p>5-3 心臓 MRI 自動左室機能解析再現性の検証</p> <p>真鍋 治 1)、反町 真祐子 2)、零石 一也 3)、 柴田 裕史 3)、傳田 昂也 4)、高橋 弘昌 1)、 杉崎 健一 1)、朝倉 峻介 1)、加藤 扶美 1)、 真鍋 徳子 1)</p> <p>1)自治医科大学附属さいたま医療センター 2)獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 3)さいたまセントラルクリニック 4)自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科</p>	<p>5-3 心臓 MRI 自動左室機能解析再現性の検証</p> <p>真鍋 治 1)、反町 真祐子 2)、零石 一也 3)、 柴田 裕史 3)、傳田 昂也 4)、高橋 弘昌 4)、 杉崎 健一 4)、朝倉 峻介 4)、加藤 扶美 4)、 真鍋 徳子 4)</p> <p>1)自治医科大学附属さいたま医療センター 2)獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 3)さいたまセントラルクリニック 4)自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科</p>
38	<p>5-5 上腸間膜動脈に生じた孤立性全周性解離の 1 例</p> <p>嘉川 博彦、関川 善二郎、西井 俊昌、 日野 彩子、野村 幸一郎、上出 浩之</p> <p>横浜市立大学付属市民総合医療センター</p>	<p>5-5 上腸間膜動脈に生じた孤立性全周性解離の 1 例</p> <p>嘉川 博彦、関川 善二郎、西井 俊昌、 日野 彩子、野村 幸一郎、上出 浩之、 青木 亮、小口 翼、真上 薫、 神戸 美有希、針金 祐平、長谷川 敦也、 沼田 朋大</p> <p>横浜市立大学付属市民総合医療センター</p>
38	<p>5-6 PET/CT および MRI が診断に寄与した腹部大動脈原発血管肉腫の一例</p> <p>中野 賢治 1)、加納 進太郎 1)、奥田 有紀 1)、 藤田 奈奈 1)、貝梅 正文 1)、横山 太郎 1)、 飯沼 元 1)、堀田 昌利 2)、三武 さわ 1)、 下村 昭彦 1)、清水 千佳子 3)、猪狩 亨 4)、 渡谷 岳行 1)</p> <p>1)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 放射線診断科 2)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 放射線核医学科 3)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科 4)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 臨床病理室</p>	<p>5-6 PET/CT および MRI が診断に寄与した腹部大動脈原発血管肉腫の一例</p> <p>中野 賢治 1)、加納 進太郎 1)、奥田 有紀 1)、 藤田 奈奈 1)、貝梅 正文 1)、横山 太郎 1)、 飯沼 元 1)、堀田 昌利 2)、三武 さわ 3)、 下村 昭彦 3)、清水 千佳子 3)、猪狩 亨 4)、 渡谷 岳行 1)</p> <p>1)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 放射線診断科 2)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 放射線核医学科 3)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科 4)国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 臨床病理室</p>
49	<p>10-4 超音波で診断したメッケル憩室穿孔の新生児例</p> <p>鍋倉 正彦 1)、青木 亮二 1,2)、向井 千尋 2)、 今泉 隆行 2)、山本 真之介 2)、 土方 みどり 2)</p> <p>1)日本大学医学部 放射線医学系 放射線医学分野 2)日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野</p>	<p>10-4 超音波で診断したメッケル憩室穿孔の新生児例</p> <p>鍋倉 正彦 1)、青木 亮二 1,2)、向井 千尋 2)、 今泉 隆行 2)、山本 真之介 2)、 土方 みどり 2)、星 玲奈 3)、渡邊 揚介 3)、 長野 伸彦 2)、三藤 賢志 3)、上原 秀一郎 3)、 森岡 一朗 2)、岡田 真広 1)</p> <p>1)日本大学医学部 放射線医学系 放射線医学分野 2)日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野 3)日本大学医学部 外科学系 小児外科学分野</p>

※2025 年 12 月 16 日現在